

社会福祉法人くるみ会 平成26年度 事業報告

I 法人の概要

主たる事務所の所在地	愛知県西尾市家武町深篠96番地
代表者職氏名	理事長 榊原豊子
法人設立年月日	昭和55年8月11日

II 法人の行なう事業

(平成27年3月末現在)

事業の種類	種別	名称	定員	備考
第1種社会福祉事業	障害者支援施設	里山の家	50	生活介護
			50	施設入所支援
			10	短期入所
第2種社会福祉事業	指定障害福祉サービス事業	多機能型事業所にしお	10	就労継続支援B型
		多機能型事業所いっしき	64	生活介護
		多機能型事業所いっしき	10	就労継続支援B型
		多機能型事業所いっしき	30	生活介護
		従たる事業所きんじょうのみや	10	生活介護
		従たる事業所くるみののみや	20	生活介護
		従たる事業所くるみながなわ	10	生活介護
		従たる事業所くるみながなわ	30	就労継続支援B型
		従たる事業所くるみLink	20	就労移行支援
	障害者共同生活援助事業	ホーム野々宮	5	共同生活事業所 西尾
		ホーム野々宮南	5	
		ホーム乙川	5	
		ホーム乙川東	5	
		ホーム味浜	4	共同生活事業所 一色
		ホーム味浜東	5	
		ホーム羽塚	5	
		ホーム友国	5	
		ホーム駿馬	3	共同生活事業所 ののみや
		ホームサン永吉	4	
		ホーム永吉	4	
		ホーム米津	4	共同生活事業所 ながなわ
		ホーム志貴野	4	
		ホーム熊味	5	
指定障害児通所支援事業	ほっと	10	放課後等デイサービス 児童発達支援事業	
移動支援事業				
居宅介護事業	居宅介護事業所いっぽ			
相談支援事業	相談支援センターあると		特定相談・障害児相談	
公益事業	障害児等療育支援事業			
	日中一時支援事業			

Ⅲ 事業運営の状況

(平成27年3月末現在 年間開所日 通所253日 入所365日)

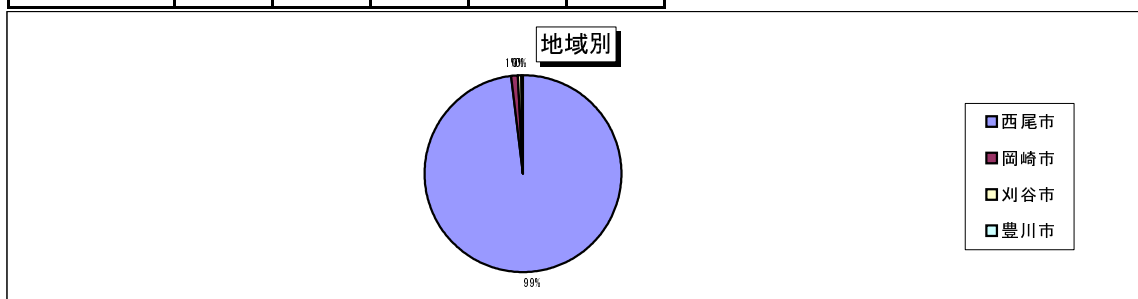
各施設・事業所の利用状況

・地域別

(単位:人)

事業所	西尾市	岡崎市	刈谷市	豊川市	合計
にしお	74	3			77
いっしき	54				54
のみみや	25				25
ながなわ	34				34
Link	6				6
里山の家	50		1	1	52
合計	243	3	1	1	248
割合	98.0%	1.2%	0.4%	0.4%	100%

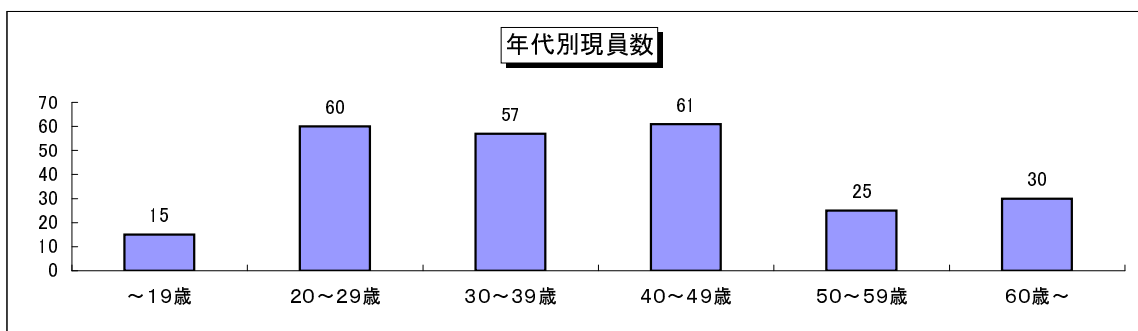
西尾市の利用者が大半を占めている。



・年代別現員数

(単位:人)

事業所	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
にしお	5	20	22	14	9	7	77
いっしき	1	17	11	15	6	4	54
のみみや	3	4	1	1	5	11	25
ながなわ	2	11	8	12	0	1	34
Link	4	2	0	0	0	0	6
里山の家	0	6	15	19	5	7	52
合計	15	60	57	61	25	30	248
割合	6%	24%	23%	25%	10%	12%	100.0%



平成26年度は新規利用者の方が8名入所された。
年間開所日は255日の予定であったが台風の影響で2日閉所となり253日となった。

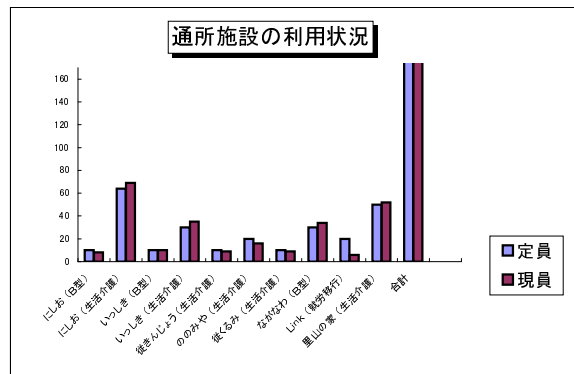
①通所事業所

・利用状況

(単位:人)

	にしお (B型)	にしお (生活介護)	いっしき (B型)	いっしき (生活介護)	従きんじょう (生活介護)	ののみや (生活介護)	従くるみ (生活介護)	ながなわ (B型)	Link (就労移行)	里山の家 (生活介護)	合計
定員	10	64	10	30	10	20	10	30	20	50	254
現員	8	69	10	35	9	16	9	34	6	52	248
利用(稼働) 率	87.5%	92.2%	97.3%	87.6%	86.1%	89.1%	89.1%	94.9%	96.7%	97.9%	92.1%
定員超過 率	80.0%	107.8%	100.0%	116.7%	90.0%	80.0%	90.0%	113.3%	30.0%	104.0%	97.6%

平成26年4月に地域生活支援センターひしいけを新設した。
また、従たるくるみを新たな日中事業所として稼働を始めた。
平成26年10月就労移行支援事業Linkを開所した。



②施設入所支援

・利用状況

(単位:人)

	里山の家	
	施設入所	生活介護
定員	50	50
現員	49	52

26年度は、1名の退所に伴い、地域から1名の受け入れを行っている。

利用者の高齢化に伴い、介護保険の適用を行うため、1名の方のサービスを短期入所の切り替える必要があったため、施設入所の現員が49名となっている。

③共同生活援助(グループホーム)

・利用状況

(単位:人)

ホーム名	ホーム野々宮	ホーム野々宮南	ホーム乙川	ホーム乙川東	ホーム味浜	ホーム味浜東	ホーム羽塚
定員	5	5	5	5	4	5	5
現員	5	4	4	5	4	5	5

ホーム名	ホーム友国	ホーム駿馬	ホームサン永吉	ホーム永吉	ホーム米津	ホーム志貴野	ホーム熊味
定員	5	3	4	4	4	4	5
現員	5	3	4	4	4	4	3

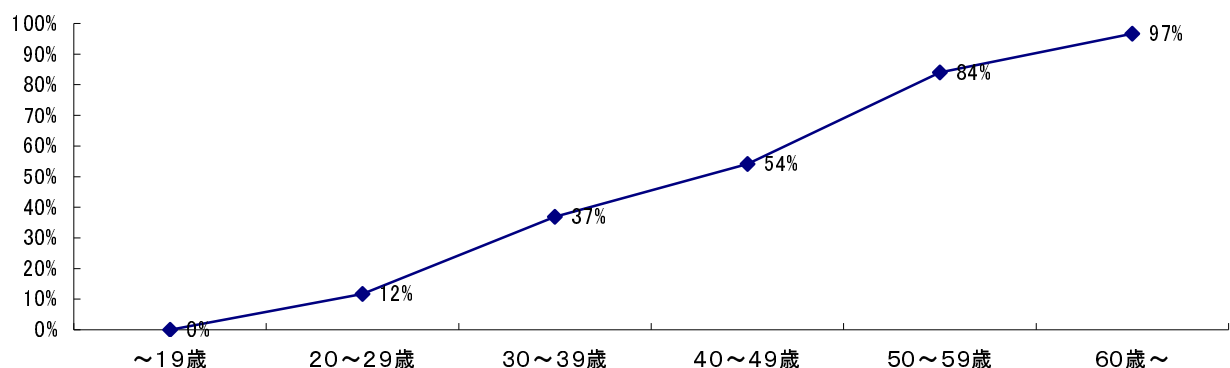
定員63名のところ10月までは現員60名、11月に野々宮南から1名高齢者施設へ入所され現員59名(男性31名、女性28名)となった。利用者平均年齢は54歳を超え高齢化が進んでいる現状で、今後は介護保険と連携をし、介護予防の取り組みをしつつ、長く住み慣れた地域で如何に安心して生活していただけるようにするかが課題である。

・生活支援事業所(里山の家・ホーム)における年代別現員構成

(単位:人)

事業所	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
くるみ会全体	15	60	57	61	25	30	248
うち里山の家入居	0	6	15	19	5	7	52
うちホーム入居	0	1	6	14	16	22	59
合計	0	7	21	33	21	29	111
現員に対する生活支援の割合	0%	12%	37%	54%	84%	97%	45%

生活支援事業所(里山の家・ホーム)における年代別現員構成



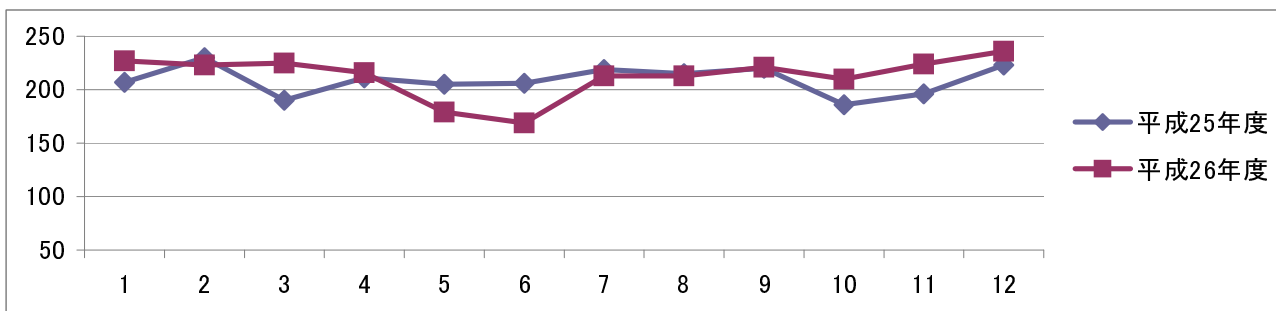
ホームの利用者平均年齢は27年度末全体で54.4歳(男女別では男性53.3歳、女性55.5歳)となった。介護認定については障害福祉サービス利用中で更新を保留している方が多く、現在3名の方に要介護1～2が認定されている。

④短期入所事業

・利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	47	45	47	44	42	37	45	47	45	37	42	41	519
平成25年度宿泊回数	207	230	190	211	205	206	219	215	220	186	196	223	2508
平成26年度宿泊回数	227	223	225	216	179	169	213	213	221	210	224	236	2556



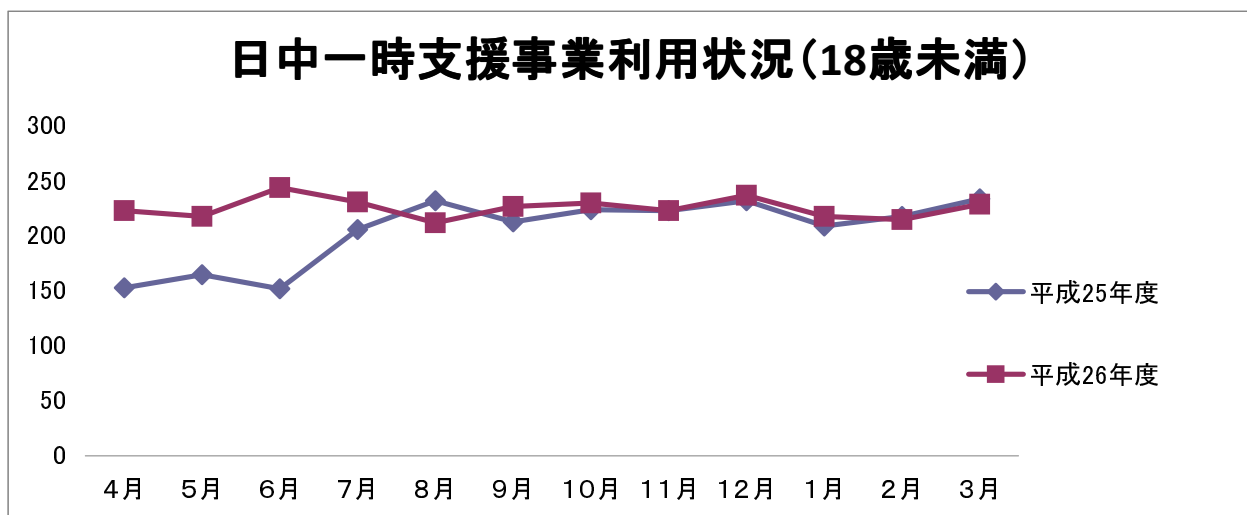
平成26年度は、男性の利用希望者増加に伴い、宿泊回数が増えてきている。今後の課題としては、増え続けている週末の短期入所のニーズに対して、行政と連携をとっていく。

⑤日中一時支援事業

・18歳未満(児)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度利用延べ人数	153	165	152	206	232	213	224	223	232	209	218	234	2461
平成26年度利用延べ人数	223	218	244	231	212	227	230	223	237	218	215	229	2707

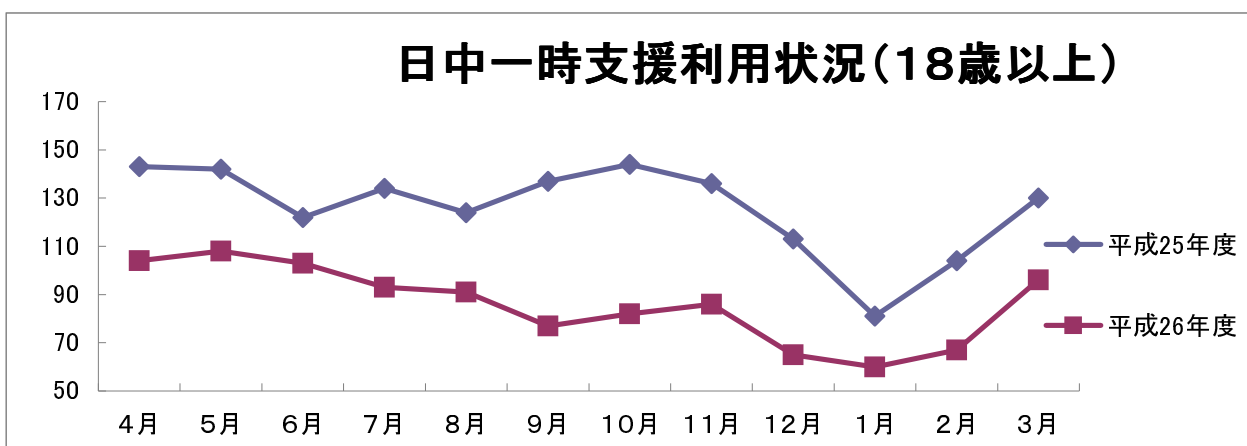


ほとんどで行っている日中一時に関しては主に小学生低学年の利用が増えている。これは児童発達支援などで行っている子育て相談などの流れからきていると推測される。また各事業所の体験を含めた利用が長期休暇等であったことも要因と考えられる。

・18歳以上(者)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度利用延べ人数	143	142	122	134	124	137	144	136	113	81	104	130	1510
平成26年度利用延べ人数	104	108	103	93	91	77	82	86	65	60	67	96	1032



18歳以上の利用状況では、ほぼすべての月で利用が減少している。これは、平日に定期的にご利用していた方の利用がなくなったことが、影響していると考えられる。

日中活動の状況

①就労支援活動

・事業

事業名	収入額 (円)	事業内容
園芸事業	18,793,050	グランドカバー事業、企業内緑化作業、除草作業、EMボカシ製造販売
菓子販売事業	6,586,561	シフォンケーキ等の製造販売およびマカデミアナッツボールの袋詰め販売
トレーリサイクル事業	4,775,959	西尾市内の食品トレー及びスーパー排出の魚箱の回収・分別・破砕
コンポスト事業	15,475,471	西尾市内の小中学校・保育園・一般企業の生ゴミを回収し、良質の肥料を生産
その他軽作業事業	30,770,305	トヨタ系企業のダンボール加工やプラスチック製品の組み付け作業
総収入	76,401,346	

園芸事業では、震災以降の税収の落ち込み起因する受注量カットの影響は想定以上であり、今まで営業活動を行っていなかった地域への営業も行ったが、結果として収入が減少した。企業内緑化作業は新たな提案を実施したことにより、売り上げを伸ばすことができた。除草作業は優先調達推進の一環として新たに実施することができた。

菓子販売事業では、質の高い商品づくりをコンセプトに平成26年度より稼働した。定期的な出張販売、積極的にイベントへ参加することで知名度もあがり、リピーターも多く安定した売り上げを確保できたと思われる。

トレーリサイクル事業では、新規取引及び原料買い取り価格増のため売り上げは伸び、工賃アップに繋げることが出来た。

コンポスト事業では、一般企業の取り引き中止などの影響もあり、収入が減少する部分があったが、全体としては、生ゴミ回収量の増加に伴い、収入が増加した。

総収入では、平成25年度に比べ収入増となっている。菓子販売事業のナッツボール販売、トレーリサイクル事業やコンポスト事業の新規開拓が主な収入増に当たる。園芸事業に関しては、25年度に比べ収入増になっているが、目標売上額まで到達はできなかった。今後、収入の増加に努力することは当然として、事業展開の見直しや経費の削減にも取り組み、利用者工賃のアップを目指していかなければならない。

・利用者工賃

(単位:円)

事業所名	最低額	最高額	平均工賃
にしお(就労B型)	3,000	11,000	12,080
いっしき(就労B型)	4,800	23,600	11,810
ながなわ(就労B型)	6,000	26,000	24,010
※夏季(7月)・冬季(12月)・決算(ながなわ)に一時金を支給			

・施設外就労活動

平成21年度より実施している西尾市水道庁舎清掃業務も平成26年度で6年が経過したが、業務範囲も年々広がり作業工程も増えていることもあり、業務委託料も増やすことができた。じょうほう工房作業は相手企業との兼ね合いで、昨年度に比べて稼働日が減ったこともあり、事業所内作業日が増えた。

・就労に向けての活動

平成26年10月より事業を開始したLinkでは「多機能型事業所にしお」から引き継いだ事業対象者4名のうち2名の方を一般就労へ結びつけることができた。今後、就職がゴールではなく通過点に過ぎないという気構えで個々の利用者にマッチした就労先と、永く働き続けられる為の支援に向けたスタッフのスキルアップとレベルアップが重要になる。

その他の活動

①居宅介護事業

ヘルパーが訪問し、身体介護・通院等介助・家事援助を行なう。(サービス対象地域は西尾市)

(単位:人)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	24	23	21	13	5	8	7	6	7	8	11	14	147

②移動支援事業

社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動など社会参加のための外出の支援を行なう。(サービス対象地域は西尾市)

(単位:人)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	35	35	33	32	28	38	31	37	35	35	30	29	398

③福祉有償運送サービス

車両を使用した移送サービス。送迎のみの利用は不可。

(単位:人)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	68	65	58	61	47	73	45	48	57	64	50	43	679

④放課後等デイサービス

24年度から開始した高校生向けのサービス。放課後や長期休暇中において、生活能力の向上や社会参加のために必要な訓練を行い、卒業後の進路先にスムーズにつなげることを目的とするサービス。

(単位:人)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	89	172	159	199	166	179	184	182	183	181	184	203	2,081

⑤児童発達支援事業

26年度から開始した未就園の親子向けのサービス。就園までの親子の関わり方、本人の発達の状況などへのアプローチなどを行っていくサービス。

(単位:人)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	0	0	0	1	39	49	64	47	45	51	37	53	386

⑥障害児等療育支援事業

在宅障害児(者)のライフステージに応じた地域での生活支援を行うため、来所相談・家庭訪問などを通じ必要に応じて関係機関との連絡調整等を行なう。その他、保育士や施設職員、ヘルパー等を対象とした研修会・講演会、保護者を対象とした学習会等を企画・開催。

(単位:回数)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	0	4	3	2	1	7	7	7	1	6	0	2	40

⑦相談支援事業

法人が元々知的障がい者を中心とした支援を行っていたことから、相談支援事業所には知的障がい児者の相談が大半を占めている。ご本人または保護者(家族)だけでなく、行政機関や事業所などからも連絡が入ることがある。近年、市内および近隣市に児童のサービス事業所が開所していることもあり、障がい児の相談も増えているのが現状である。ご本人だけでなく家族支援が必要なケースが増えてきており、必要に応じてケース検討会議を開催することで、障がいを持つ方が地域で安心して生活できるように関係機関と連携を取りながら支援を行っている。

(単位:件数)

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	135	147	159	123	130	165	150	134	136	157	120	237	1,793
計画相談件数	32	19	26	37	18	26	33	25	18	27	35	57	353

第三者評価の実施

共同生活事業所一色において第三者評価を実施した。今後も、各事業所とも計画的に第三者評価を実施し、サービスの質、量ともに充実させていかなければならない。